# BEST AVAILABLE COPY

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

64-007561

(43)Date of publication of application: 11.01.1989

(51)Int.CI.

H01L 27/14 H01L 23/02 H04N 5/335

(21)Application number: 62-161866

(71)Applicant: NEC CORP

(22)Date of filing:

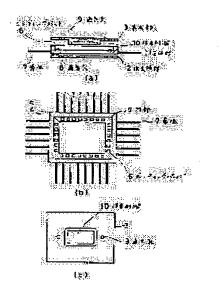
29.06.1987

(72)Inventor: TOYAMA SHIGERU

### (54) OPTICAL SENSOR PACKAGE

### (57) Abstract:

PURPOSE: To contrive to make the title package smaller in size by a method wherein a solid-state optical sensor of a rear irradiation type of which wiring is performed from the surface through bonding is mounted, where any structural element is not provided between the rear of the solid-state optical sensor and a light emitting body to support the solid-state optical sensor, which is supported by the part adjacent to the photodetecting region of the solid-state optical sensor surface through the intermediary of a bonding agent. CONSTITUTION: A frame-shaped insulator with a hole larger than a solid-state optical sensor at its center, which has a recessed part 5 formed around the central hole 4 and lower than the peripheral part, is provided as a basic component and bonding pads 6 are built on the flat part of the recessed part 5. A main part 1 with conductors 7 which are electrically connected with the bonding pads 6 and extend out of the insulator passing through it and an interim supporting part 2, which is



parallel plate—shaped, with vent holes 8 provided at the part which is not covered with the solid—state optical sensor when it is temporarily bonded are provided. Moreover, a base part 3 is provided which is a parallel plate, formed of the same material as the main part 1, and provided with a bonding agent reservior 10 on the central part of its one surface and vent holes 9 formed around the reservior 10. By these processes, miniaturization can be contrived.

### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

### 9日本国特許庁(IP)

印特許出願公開

## 四公開特許公報(A)

昭64 - 7561

@Int\_Cl\_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和64年(1989)1月11日

H 01 L 27/14 23/02 D-8122-5F F-6835-5F V-8420-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

49発明の名称

H 04 N

光センサパツケージ

创特 頤 昭62-161866

23出 願 昭62(1987)6月29日

砂発 明者 遠 Ш 茂

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

①出 願 人

日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番1号

②代 理 弁理士 本庄 伸介

5/335

P04-0065 -00WO-HP

SEARCH REPORT

眲

1. 発明の名称

光センサバッケージ

### 2. 特許請求の範囲

裏面照射型で表面側からポンディング配線され る型式の固体光センサが搭載される光センサバッ ケージにおいて:

中央に前記固体光センサより大きい穴を有する 枠状で、一方の面のみ中央の前記穴の周囲に外周 部より窪んだ凹部を持つ絶縁体を基礎とし、その 絶縁体の窪み平坦部分にポンディングパッドを有 し、ポンディングパッドと電気的に繋がる斑体を 前記絶縁体内を通して外部に引き出してある主体 部と、

組立て中に前記主体部の前記凹部の無い側に仮 接着して前記固体光センサの支持に用いる部品で、 前記主体部の穴から覗ける面が前記間体光センサ の受光面に密着する平坦面である仮支持部と、

前記主体部の前記凹部側外周部に接着されて前 記固体光センサを支持する部品で、前記主体部の 前記穴から覗ける面の中央付近に接着剤溜が設け られている基底部とから構成され:

前記仮支持部と前記基底部の少なくともどちら か一方に通気孔を具備していることを特徴とする 光センサパッケージ。

### 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本死明は半導体デバイスのなかでも特に光セン サを搭載するパッケージに関する。

(従来の技術)

第3図(a)は従来のこの種のパッケージの断 面図、同図(b)はそのパッケージの正面図であ る。第3図のパッケージには、裏面照射型で表面 関からボンディング配線される構造の固体光セン サが搭設される。このパッケージは絶縁性の枠体 15とポンディングパッド6と海体7とからなる。 枠体15には固体光センサより小さく、かつ周体光

(発明が解決しようとする問題点)

上述した裏面照射型で表面側からボンディング 配線される構造の固体光センサが搭載される従来 のパッケージでは、中央に設けられた穴を通して 光が間体光センサに入射する構造となっており、 その穴の周囲の二段目2をみ平坦部分に固体光セン

配線される型式の固体光センサが搭載される従来 のパッケージが持つ問題点を解決するために本発 明が提供する該光センサバッケージは、中央に固 体光センサより大きい穴を有する枠状で、一方の 面のみ中央の穴の周囲に外周部より窪んだ凹部を 持つ絶縁体を基礎とし、その絶縁体の窪み平坦部 分にポンディングパッドが設けられ、ポンディン グパッドと電気的に繋がる導体が前記絶縁体内を 通して外部に引き出されている主体部と、組立て 中に前記主体部の凹部の無い側に仮接着して固体 光センサの支持に用いる部品で、主体部の穴から **覗ける面が固体光センサの受光面に密着する平坦** 而である仮支持部と、前記主体部の凹部関外周部 に接着して最終的に固体光センサを支持する部品 で、主体部の穴から覗ける面の中央付近に接着剤 溜が設けられている基底部とから構成され、仮支 持部と基底部の少なくともどちらか一方に通気孔 を具備してなる。

(作用)

本発明の光センサパッケージでは、仮支持部は

サが裏面を光入射側に向けて接着される。このよ うな構造の従来のパッケージは、搭載される固体 光センサが受光領域の周囲に接着するのに充分な 面積の非受光領域を有するものでなければならず、 それに伴って二段自窪みもそれが収まるだけの面 積を要するから小型化が難しい。また、前述の固 体光センサのなかには冷却して用いられる種類の ものもあるが、従来のパッケージでは二重凹部を 有する例の凹部外周平坦部分が冷却装置に接続あ るいは接着されるので、搭載された固体光センサ の熟は三段目輩み平坦部分との接着部及び前述の 「パッケージと冷却装置との接続部(接着部)を介 して放出される。従って従来のバッケージではも ともと冷却効率が悪いうえ、小型化するために前 記の固体光センサとパッケージとの接着部及びパ ッケージと冷却装置との接続部(接着部)の面積 を減らすとさらにその効率が低下するという欠点 がある。

(問題点を解決するための手段)

前述した裏面照射型で表面調からポンディング

固体光センサのボンディング配線及び基底部との 接着の際に治具として用いるだけで固体光センサ の組込み完了時には主体部から除去してしまい固 体光センサの支持は基底部で行なう。従って、本 発明の光センサバッケージに搭載する固体光セン サでは受光領域周囲の非受光領域をポンディング パッド等の周辺構成要素を設けるのに必要な最小 限にすることができ従来のパッケージの二段目窪 みに相当する本発明の光センサバッケージの主体 部中央の穴はその固体光センサが収まるだけの大 きさがあれば充分なので、小型化するうえでの間 題点が解決される。また、冷却を必要とする固体 光センサを搭載する場合にも、本発明の光センサ パッケージでは冷却装置との接続あるいは接着に 基底部の広い面積を当てることができ、加えて固 体光センサと基底部との接着面積を広く取ること が可能なので、冷却効率の問題点も解決される。 (実施例)

次に本発明について図面を参照して説明する。 第1図は本発明の一実施例の構造を示す図で、

同図(a)は全体の縦断面構造図、同図(b)は 凹部側から見た主体部正面図、同図(c)は接着 剤温側から見た基底部正面図である。中央に固体 光センサより大きい穴4を有する枠状で、一方の 面のみ中央の穴4の周囲に外周部より窪んだ凹部 5を持つ絶縁体を基礎とし、その絶縁体の羅み平 坦部にポンディングパッド6を有し、ポンディン グパッド6と電気的に繋がる導体でを前記絶縁体 内を通して外部に引き出してある主体部1と、平 行平板形状を有し、固体光センサを仮接替した時 にその固体光センサで覆われない部分に通気孔8 を具備した仮支持部2と、主体部と同種の絶縁体 から成り平行平板の一方の面中央に接着剤流10を 有しその周辺部に通気孔りを設けた構造の基底部 3の三つの部分から本実施例は成り立っている. 第1図(a)に示してある三つの部分を密着させ たとき、基底部3の接着削溜10の最高部と仮支持 部2との隙間が固体光センサの厚さに若干の余裕 を加えた程度となるように該パッケージの寸法は 設計してある。また、接着利滞10の開口の広さは

な面積で接触する(第2図(c))。接着剤が全て完全に硬化するまで放置し、仮支持部2を取り外して実装が完了する(第2図(d))。なおお3 と風部3と固体光センサ11との接着及び基体部1との接着に用いる接着剤には、主体体光センサ11との接着に用いる物質が熱を削れての接着に用いる物質が熱を削れての投替に用いる物質が熱を耐光溶験させて仮接着するタイプの場合には耐熱性の良いものを選択し、介剤等で溶解して少なくとも硬化後不溶性を示すものを削いる。

### (発明の効果)

以上説明したように本発明の光センサバッケージは、裏面照射型で表面側からボンディング配線される型式の固体光センサ搭載完了後に固体光センサ裏面と発光体との間に固体光センサを支流の受光領域付近を接着剤を介して支持する構造のである。このような構造の採用により、本発明の光センサバッケージは、固体光センサを収容するのに

個体光センサの受光領域と同程度にし、関体光センサと主体部1のボンディングパッド6との間を配線した接続ワイヤに接着剤溜10が触れて傷つけることのないようにしてある。

次に同実施例のパッケージの使用方法について 説明する、第2図は同実施例のパッケージに固体 光センサを実装する作業工程を示す図である。こ の図からは仮支持部2及び基底部3に設けてある 通気孔を省略してある。まず最初に主体部1の凹 部の無い側に仮支持部2を比較的低温で溶融する 物質あるいは有機溶剤等に対して可溶性の粘着物 質によって仮接着する。次に、主体部1中央の穴 を通して仮支持都2上に固体光センサ11を同様の 物質を用いて仮接着し、固体光センサ11と主体部 1のボンディングパッド間を接続ワイヤ12でポン ディング配線する (第2図 (a))、基底部3の 接着利温10に充填可能な接着剤13を表面張力で丸 く服らむ程たっぷり満した後、基底部3を接着剤 13で主体部に接着する(第2図(b))。このと き接着剤溜10の接着剤13は固体光センサ11と大き

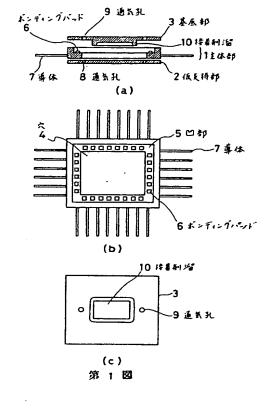
必要な最小の機幅で足り、固体光センサとの相対 寸法を従来のパッケージより小さくできる。また 冷却を必要とする固体光センサを搭載すれば本発 明の光センサパッケージは冷却効率を向上できる。

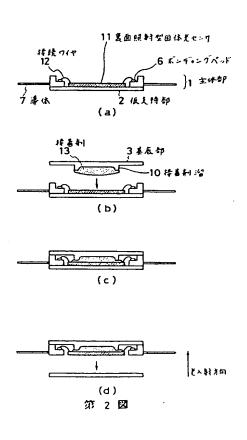
### 4. 図面の簡単な説明

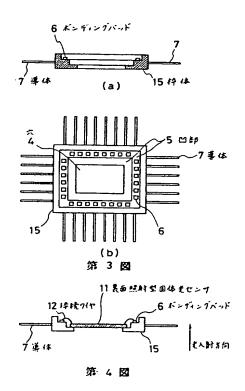
第1図は本発明の一実施例の構成を示す図で、同図(a)はその実施例全体の縦断面図、同図(b)は凹部側から見た主体部正面図、同図(第2図(a)~(d)は同実施例のパッケージに要面照射型で表面側からボンディング配線される構造の別がある。第3図は従来例の構造を示す図である)は縦断面図、同図(b)は二重凹部側から見た正面図である。第4図は同様来例の前記箇体光センサ実数状態図である。

1 … 主体部、 2 … 仮支持部、 3 … 基底部、 4 … 穴、 5 … 凹部、 6 … ボンディングパッド、 7 … 導体、 8 、 9 … 通気孔、 10 … 接着削溜、 11 … 裏面照 射型固体光センサ、12…接続ワイヤ、13…接着剤。

代理人 弁理士 本庄伸介







# 手 続 補 正 書(自発)

昭和63年 6所



特許庁長官 殿

1.事件の表示

昭和62年特許顯第161866号

2.発明の名称

光センサパッケージ

3.補正をする者

事件との関係

特許出願人

化 所

東京都港区芝五丁目33番1号

名称

. (423)日本電気株式会社

代表者 関本忠弘

4.代 理 人

〒220 横浜市西区南学二丁目 8番9号 6山京ビル 804号室 (8779)弁理士 本 庄 仲 介を関す 電 話 横浜(045)314-9313

TQ. A

5. 袖正の

明細部の発明の詳細な説明の概



### 6 . 補正の内容

- (1)明細被第3頁第2行目から第3行目にかけて「光入射面に対向する側の枠体15には」とあるのを「光入射面ではない側(第3 図(a)では上側)の前記穴の周囲には」と補正する。
- (2)明細書第9頁第6行目に「主体部1」とあるのを「仮支持部 2」と補正する。
- (3)明細密第9頁第19行目から第10頁第2行目にかけて「水発明の光センサパッケージは、固体光センサを収容するのに必要な 
  越小の横幅で足り、固体光センサとの相対寸法を従来のパッケージより小さくできる。」とあるのを「収容される光センサには光センサパッケージとの接着代としての周縁が不要となるから該光センサを小型化でき、ひいては光センサパッケージを小型化できる。」と補正する。

# This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

×	BLACK BORDERS
×	IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
Ø	FADED TEXT OR DRAWING
	BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
0	SKEWED/SLANTED IMAGES
×	COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
	GRAY SCALE DOCUMENTS
	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
	REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
	OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.
As rescanning documents will not correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox